



か た ら ひ

第41号 / 令和7年1月吉日発行
発行 / 社会福祉法人 七施会
京都市右京区太秦一ノ井町 39-8
TEL (075)881-6666
FAX (075)864-0081
HP <https://nanasekai.or.jp>



新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、社会福祉法人七施会は昨年、法人設立 30 周年を無事に迎えることができました。これもひとえにご利用者様、ご家族様、地域の皆様や関係機関の皆様のお力添えあつての事であり、心より深く感謝、御礼申し上げます。この記念すべき年に理事長という要職にあり、一層身の引き締まる思いでございます。

社会福祉法人七施会は、私の母である初代理事長の「地域の皆様や困っておられる方のためにお役に立てることがあるとすれば、今がその時である」という熱い思いにより設立され、お釈迦様の教え「無財の七施」より「七施会」と命名されました。私たちの日常生活においてお金がなくても、物がなくても周りの人々に喜びを与えていく、少しでも喜んでいただける方法がある、それが「無財の七施」の教えです。 — 「身施」「心施」「眼施」「和顔施」「言施」「牀座施」「房舎施」 — ここに初代理事長の思いが凝縮されております。その思いを大切に、今後も安心安全なサービスをお届けできますよう努めて参ります。また職員が力を発揮できるような満足のいく環境を提供することも法人の責務であると考えます。この先の新たな 30 年も、より一層皆様に寄り添える誠実な法人として歩んで参る所存でございます。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人七施会 理事長 河合鉄男

アムールうずまさ 特別養護老人ホーム 短期入所生活介護



釜めしレク

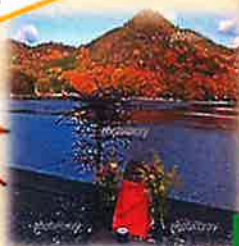


お釜で炊くとふっくら炊けてとてもおいしかったです。

敬老会



紅葉ドライブ



広沢の池周辺までドライブに行ってきました。昔を思い出す方もおられとても良い思い出になったと話してくださいました。



一年のうち一番盛り上がる敬老会！表彰式から始まり職員の二人羽織やカラオケ大会、食事は揚げたての天ぷらをいただきました。



アムールうずまさ 通所介護事業所



大正琴の演奏会



保育園からかわいい訪問



年末には毎年カレンダーを作っています。令和7年の干支は『巳』

カレンダー制作



4色ボールすくい



ボランティアで来て下さった大正琴サークルの皆様の演奏や保育園の子供たちのお遊戯に大変盛り上がりました。かわいらしい子供たちとふれあい涙される方も。素晴らしいひとときを皆様と過ごすことができました。

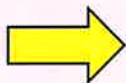
地域密着型特別養護老人ホーム メルシーうずまさ

お菓子作りレクリエーション



今回はフルーチェ作り!

まぜまぜ♪



他の方の分もとりに分けていただきました。



お誕生日会

お誕生日おめでとうございます!

皆様が歌を歌ったりお祝いの言葉を伝えたりさせていただきます。照れたようなお顔が素敵でした。



外の景色を見ながらお話中♪

メルシーうずまさ

短期入所生活介護事業所

輪投げレクリエーション

慎重に狙いを
定めて〜



輪投げ成功!
満面の笑みで
「やったー!」



真剣に黙々と
取り組んでおられます。

紅葉 飾り付け



クリスマスツリー飾り付け

皆様が協力し合って
飾っていただきました。

メルシーうずまさ 通所介護事業所

メルシーデーでは、さまざまなレクリエーションをお楽しみいただいています。

♪色紙で作った金魚釣り♪



←色とりどりの金魚を
マグネットのついた釣り竿で
釣りあげました。中には職員
の名前の**レア金魚**もいて、高
得点獲得目指して頑張ってお
られました。

★夏の風物詩・スイカ割り★



↑割ったスイカは
美味しく頂きました

♪フクロウ制作レク♪



←「福来郎」「不
苦勞」などと言わ
れ縁起の良いふく
ろうを作りました。

★歌レク★



メルシーうずまさ 訪問介護事業所

☆そもそも訪問介護ってなにをするの～？☆

初めてのご利用者宅に伺った時「そもそも訪問介護って何するの～？」って聞かれました。

『自立生活支援・重度化防止のための見守り的支援』
ってどういうこと？

ヘルパーは家政婦さんのように何をしてもよいわけではなく、公的な介護保険制度などの社会保障制度の給付を適用すべき内容で、ヘルパーが対応して良いことと出来ないこと、またやりすぎではないかなどサービス提供責任者が確認をしながらサービスの提供をします。

難しいようですが…

もう何年もお付き合いをして頂いているご利用者から「ヘルパーさんは、ただ家に来てお料理やお掃除するだけじゃなくて、私の顔色を見て、声を聞いて、話をして、今日の体調はどうかなって見ていくのもお仕事ね。私を見て体調がわかるから、ヘルパーさんに嘘はつけないわ」と言われていました。ご利用者の方が訪問介護の仕事を適切に理解してくださっていると感じました。



メルシーうずまさ 居宅介護支援事業所

～居宅サービスをうまく活用するために～

高齢者安心お出かけサービス

認知症の高齢者等が外出して戻れなくなった場合に、早期に発見できるシステムを利用して事故などを未然に防ぎ、ご家族様が安心して介護できる環境の整備を図ります。

【内容】

認知症の高齢者等が外出して戻れなくなった場合に、対象高齢者等の位置を特定して早期発見し、事故を未然に防ぐため、小型GPS端末機を貸し出します。

【利用できるのは】

認知症により外出時に戻れなくなるおそれのある高齢者等を、在宅で介護をしているご家族様など。

【利用料金は】

月額1,500円(令和6年4月現在)

*詳しくは担当ケアマネジャーにご相談ください





鈴木 啓之 様

メルシーうずまさ通所介護事業所
メルシーうずまさ居宅介護支援事業所
ご利用者様



西七条の「きねや老舗」からのれん分けで独立して、はや62年。常盤の地に店を構え長年、夫婦で営んできました。

和菓子屋「きねや」は地元の方々とともに歴史を刻んできました。

昭和10年に生まれ、高校生の時に大病を患い、やむを得ず中退することになったものの、それがきっかけで和菓子職人の道を歩むことになりました。先述にありました「きねや老舗」では10数年住み込みで、一番番頭として働きました。のれん分けしていただいてからも精進して、高松宮宣仁親王が名誉総裁を務められた「第17回全国菓子博覧会」にて上用饅頭の金賞を得ることができ、誇りに思っております。



撮影所が近い土地柄としてのエピソードでは、「里見浩太郎」さんが、よくおはぎを買いに来られ、奥様がてきぱきと「私が詰めるから」と言われてびっくりしたことなどがあります。

他にも、京都府の職業訓練指導員として後進の指導に当たったり、地域の児童館へ子供たちに和菓子作りの体験をしてもらいに行ったり、地域に根付く和菓子屋として、夫婦で支えあって頑張ってきました。「苦労ばかりやったわ」と妻は言いますが、そんな妻に感謝し、これからも一緒にがんばっていきたいと思っています。「きねや」をよろしく願います。



プルミエールうずまさサービス付き高齢者向け住宅 ご協力ありがとうございます

ご利用者様・ご家族様・地域の方々からご寄贈いただきました、
清拭用の布をプルミエールのご入居者様がカット・裁縫をして下さいました。
談話コーナーに集まってくださり、皆様ご自分の裁縫箱をご持参いただき
ご入居者様同士でお話をされながら、見事な手つきで縫い上げて下さいました。
少しでもお力になれるならと仰って下さり、感謝の気持ちでいっぱいになりました。
大事に使わせていただきます。



七施会祭



11月3日に七施会祭を開催しました。イベントやゲーム、模擬店、バザー等を行い大盛況でした。多くの皆様にご来場いただき、ありがとうございました。



PŌMAIKA' I HULA STUDIO KYOTO 様によるウクレレ演奏とフラダンスの素晴らしさに魅せられました。



きょうと wakuwaku 座様による血回し・バルーンアートはご来場の皆様も参加して楽しんでいただきました。

社会福祉法人 七施会



【本体事業部】

〒616-8107 京都市右京区太秦一ノ井町 39-8

代表 TEL(075)881-6666

- ・特別養護老人ホーム アムールうずまさ
- ・アムールうずまさ 短期入所生活介護事業
- ・アムールうずまさ 通所介護事業所

【サテライト事業部】

〒616-8107 京都市右京区一ノ井町 41

代表 TEL(075)881-5557

- ・地域密着型特別養護老人ホーム メルシーうずまさ
- ・メルシーうずまさ 短期入所生活介護事業所
- ・メルシーうずまさ 通所介護事業所
- ・メルシーうずまさ 居宅介護支援事業所
- ・メルシーうずまさ 訪問介護事業所
- ・ブルミエールうずまさ サービス付き高齢者向け住宅
- ・おおきにうずまさ 地域交流センター



嵯峨野高校吹奏楽部様による演奏は大迫力でした。



太秦ふれあい祭

太秦小学校での太秦ふれあい祭にブースを出させていただき、福祉車両を使用して車イスで乗車体験をしていただきました。順番待ちが出るくらい盛況で大変賑わいました。車イス体験では多くの子供たちが車イスに乗って実際の操作を体験。初めのうちは難しそうでしたが、慣れてくるとスーッと走らせていました。「車イスの方の立場に立ってみる良い機会になりました」と言われていました。



～編集後記～

お読みいただきありがとうございました。七施会祭など皆様と交流の機会をたくさん持たせていただくことが出来ました。やっぱりイベントは楽しいですね。感染症の流行期を避けながら、今後もいろいろできればいいと思います。